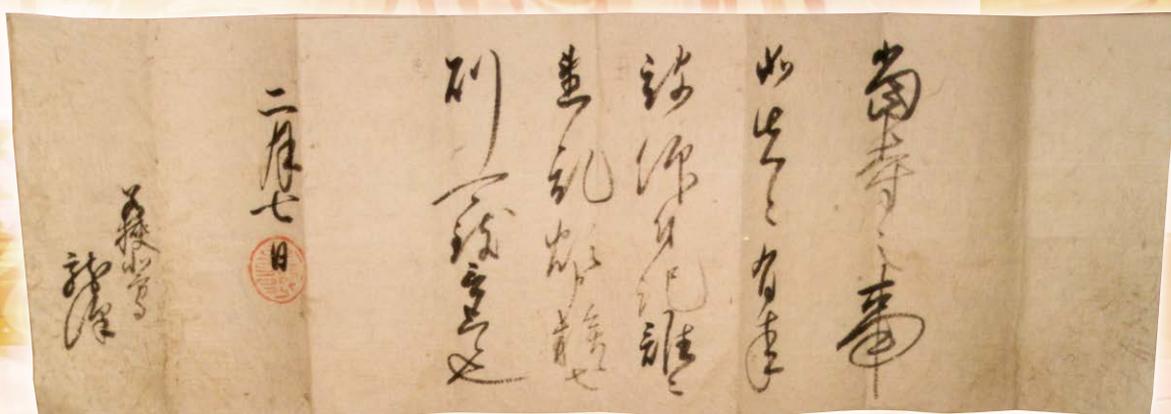


議会 だより

雨宇童子立像 (園林寺)



秀吉朱印状 (龍澤寺)



美浜町文化財シリーズ④ 1
 9月定例会 2~4
 常任委員会の動き 5~7
 現地視察・第5回臨時議会 7
 一般質問 8~11

各委員会・協議会・組合議会報告 11~13
 議会と語ろう会 14~15
 知っ得議会シリーズ⑥ 15
 中学校体育祭・レガッタ記録・編集後記 16

9月定例会(9月5日～21日)

9月定例議会が5日から21日までの17日間開催されました。この9月議会は、前年度の決算を認定する議会でもありません。28年度一般会計では、過去最高の100億7千万円を使用しました。

また、一般会計及び特別会計の議案が4件、条例の改正が2件あり、可決しました。



「きいばす」～完成したエネルギー環境教育体験施設～



「大規模園芸ハウス」～トマトの栽培～



「総合運動公園野球場」～完成した野球場～



「国道27号の改良」～歩道を広く整備中の国道27号～

28年度の決算は、一般会計で100億7千万円。特別会計が51億2千万円で総額151億9千万円になり、町民一人当たり約157万円使ったことになりました。

一般会計の主な事業は、エネルギー環境教育体験施設「きいばす」に9億円、大規模園芸ハウス整備事業に1億8千万円、企業誘致促進事業に3億3千万円、町道金山2号線の道路改良事業に1億3千万円、総合運動公園の野球場改修などに3億4千万円です。特別会計のうち

大きなものは、国民健康保険事業が14億円、介護保険事業が10億円、産業団地事業が5億1千万円、国道27号の改良のための用地取得費などに6億2千万円使いました。

補正予算では、一般会計が、5億2千万円補正し、総額約90億円になり、県園芸研究センターに隣接して薬草やハーブの直販所及び薬膳料理を提供するレストランの建設費として1億3千万円、乗用型の除雪車購入に1千万円が計上されました。

平成 29 年度 一般会計 9 月補正予算概要

29 年度 一般会計補正予算(9月) 5 億 2,209 千円を可決 補正後予算総額 89 億 8,239 万円

◎ 歳出予算の内訳(主要事項)

(単位:万円)

款	補正額	主要事項	金額	事業概要等
総務費	352,338	公共交通運行事業	251	山上バス停待合所の老朽化に伴う建替工事費
		園芸拠点施設整備事業	13,737	園芸拠点施設建築工事費や建築工事に係る監理業務委託料、テーブルや椅子などの施設備品購入費
		財政調整基金積立金	20,070	平成 28 年度歳入歳出決算上生じた剰余金(繰越金)の 1/2 を積立てる。
民生費	9,401	子育て支援センター運営事業	9	子育て支援センター 10 周年行事に係る経費
衛生費	7,084	健康診査事業	208	胃がん内視鏡検査などの個別検診に係る経費など(受診希望者数の増加)
農水業 林産費	13,422	緑のふるさと協力隊受入事業	19	緑のふるさと協力隊の受入れに係る経費(現地調査に係る旅費など)
		美浜おみや開拓事業	719	美浜町ならではの、地域資源を活用した魅力あるおみや(特産品等)の開発等に係る経費
土木費	105,929	除雪車購入事業	1,084	乗用型小型ロータリー除雪車(1台)の購入費
教育費	12,999	生涯学習講座事業	24	なびあす文化講座に係る経費(講座回数の増加)
		歴史文化館活用事業	15	巡回展などの実施に係る経費
		美浜・五木ひろしまラソン準備事業	375	平成 30 年度開催の第 30 回美浜・五木ひろしまラソン大会の準備経費

平成 28 年度 歳入歳出決算の認定

◎平成 28 年度

一般会計歳入歳出決算の概要

平成 28 年度一般会計歳入決算額は、105 億 3,036 万円となりました。町税等の自主財源は全体の 50.7% となりました。

また、歳出決算額は 100 億 7,357 万円となり、歳入歳出とも前年度より増額決算となりました。

(詳細額は表の通りです。)

◎歳出の状況

(単位：万円、%)

款	平成 27 年度	平成 28 年度	比較増減	増減率	構成比
議 会 費	10,858	9,458	△ 1,400	△ 12.9	0.9
総 務 費	134,826	235,945	101,119	75.0	23.4
民 生 費	149,057	142,132	△ 6,925	△ 4.6	14.1
衛 生 費	126,577	125,532	△ 1,045	△ 0.8	12.5
労 働 費	3,840	3,843	3	0.1	0.4
農林水産業費	60,217	75,272	15,055	25.0	7.5
商 工 費	47,816	68,773	20,957	43.8	6.8
土 木 費	105,271	104,835	△ 436	△ 0.4	10.4
消 防 費	44,396	73,451	29,055	65.4	7.3
教 育 費	175,011	132,784	△ 42,227	△ 24.1	13.2
公 債 費	34,916	35,332	416	1.2	3.5
歳 出 合 計	892,785	1,007,357	114,572	12.8	100.0

◎歳入の状況

(単位：万円、%)

款	平成 27 年度	平成 28 年度	比較増減	増減率	構成比
町 税	261,608	269,407	7,799	3.0	25.6
地 方 譲 与 税	5,416	5,360	△ 56	△ 1.0	0.5
利子割交付金	279	166	△ 113	△ 40.5	0.0
配当割交付金	864	471	△ 393	△ 45.5	0.1
株式等譲渡所得割交付金	752	280	△ 472	△ 62.8	0.1
地 方 消 費 税 交 付 金	20,912	18,393	△ 2,519	△ 12.0	1.7
自 動 車 取 得 税 交 付 金	1,167	1,208	41	3.5	0.1
地方特例交付金	182	308	126	69.2	0.0
地 方 交 付 税	99,402	96,405	△ 2,997	△ 3.0	9.2
交通安全対策特別交付金	117	101	△ 16	△ 13.7	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	12,027	11,767	△ 260	△ 2.2	1.1
使 用 料 及 び 手 数 料	8,938	8,826	△ 112	△ 1.3	0.8
国庫支出金	186,843	183,805	△ 3,038	△ 1.6	17.5
県 支 出 金	118,968	158,158	39,190	32.9	15.0
財 産 収 入	1,422	1,016	△ 406	△ 28.6	0.1
寄 附 金	1,948	13,053	11,105	570.1	1.2
繰 入 金	87,707	173,561	85,854	97.9	16.5
繰 越 金	36,500	42,302	5,802	15.9	4.0
諸 収 入	23,982	15,149	△ 8,833	△ 36.8	1.4
町 債	66,053	53,300	△ 12,753	△ 19.3	5.1
歳 入 合 計	935,087	1,053,036	117,949	12.6	100.0

平成 28 年度 特別会計別決算状況

会 計 名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
診 療 所 事 業 特 別 会 計	1 億 4,898 万円	1 億 4,887 万円	11 万円
国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計	14 億 7,406 万円	14 億 392 万円	7,014 万円
後 期 高 齢 者 医 療 事 業 特 別 会 計	1 億 1,279 万円	1 億 1,105 万円	174 万円
介 護 保 険 事 業 特 別 会 計 (介 護 保 険 事 業 勘 定)	11 億 6,723 万円	11 億 2,152 万円	4,571 万円
介 護 保 険 事 業 特 別 会 計 (介 護 サ ー ビ ス 事 業 勘 定)	801 万円	801 万円	0 万円
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	1 億 3,297 万円	1 億 2,261 万円	1,036 万円
集 落 排 水 処 理 事 業 特 別 会 計	2 億 2,875 万円	2 億 2,861 万円	14 万円
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	5 億 649 万円	5 億 628 万円	21 万円
産 業 団 地 事 業 特 別 会 計	5 億 1,197 万円	5 億 1,197 万円	0 万円
住 宅 団 地 事 業 特 別 会 計	3 億 3,459 万円	3 億 3,459 万円	0 万円
道 路 用 地 取 得 事 業 特 別 会 計	6 億 2,735 万円	6 億 2,667 万円	68 万円
合 計	52 億 5,319 万円	51 億 2,410 万円	1 億 2,909 万円

●平成28年度美浜町一般会計歳入歳出
決算の認定について

【町の財政状況】

問 まちづくり基金、財政調整基金の合計が、約13億円から約9億円に減少している。今後は？

答 まちづくり基金は必要に応じて活用し、積み立ては歳出の抑制や留

保財源の捻出に努め、財政調整基金に優先して積み立てる。

●平成28年度 美浜町一般会計歳入歳出
決算事項別明細

【歳出】

(総務費)

問 防犯灯LED化推進事業は、町の計画で推進しているのか。それとも、各区の要請によるものか。

答 老朽化の課題などを各区分に調査をしてもらった上で、優先順位を決めてから予算内で実施した。

問 移住居住体験施設「黄舎」の利用状況は。

答 4月15日から供用を開始し、現在延べ175名が宿泊している。

(民生費)

問 新たな出合い応援事業の成果は。

答 メール交換はしているが、成婚の実績はない。

(農林水産業費)

問 中山間地直接支払事業は、荒廃地を改善しているかという事業か。

答 一定の傾斜がある農地について、新たな耕作放棄地の発生を防ぐために、集落協定を結び、協定に基づき5年間耕作を継続するという事業である。

(商工費)

問 企業誘致促進事業の企業訪問の結果と可能性は。

答 美浜を検討している企業は、太平洋側の東海地震のリスク回避や地震保険金の安さなど、地震を避ける傾向がある。それが日本海側を選択する1つの要件になっている。産業団地は、高速道路インターに近く京阪神のマーケットにも近いことが利点と考えている。デメリットは、求人倍率が高く、雇用の確保を心配する面があるが、現在3〜4社に絞って交渉している。

問 なびあす文化事業が5周年を迎えるが、プログラム内容に変化を付ける必要があるのか。アドバイザー、企画委員の構成を替えてみる必要があるのではないか。

答 なびあす文化事業のプログラムは、なびあす自主文化事業企画委員会にはかって実施している。アドバイザーの意見やアンケートを参考に進めている。

(事項別明細全般)

問 分担金、負担金で、保育所や小学校の給食費の未収納金があるという説明があった。給食費を無料にするつもりはないのか。

答 他の市町で無償化している自治体もある。美浜町も教育委員会でも協議したが、現段階では決定していない。



美浜町生涯学習センター「なびあす」

●平成28年度美浜町上水道事業会計決算の認定について

問 施設の耐震化は完了しているのか。

答 既存設備の調査を完了し、修繕を計画的に進めている。危険な施設も災害復旧と合わせて実施した。

●平成29年度美浜町一般会計補正予算
(第3号)

補正予算中の園芸拠点施設整備事業の説明を受け、質疑に入る。

説明

県の園芸研究センターについては、規模の縮小や施設の閉鎖はしないように県と交渉を重ねてきた。また、三方五湖周辺を観光ゾーンとして活用したいという要望も継続して行っている。

三方五湖周辺の環境は、総合体育館、野球場、三方五湖のボート競技など、国体に向けた整備が進み、交通の面でも高速道路が開通したことにより利便性が高まったと考えている。

県は、園芸研究センターで園芸体験学習などの施設拡充を計画しており、美浜町としてもこれを観光資源としてさらに発展させたいと考えている。

県と町で将来の発展を分担することで一致しており、レストラン・直売所の建設と運営を美浜町が行う。という経過説明の後、6万人の集客目標と採算計画が示された。

問

園芸拠点施設整備事業の財源である地方債の内容と、まちづくり基金の説明を。

答

地方債の償還の財源は、一般財源である。まちづくり基金は、必要に応じてまちづくり事業に充当しており、本事業もその一つである。(山口記)

総務文教
常任委員会
請願審査1件
陳情審査1件

地方財政の充実・強化を国に要請

●請願第2号

「大飯原発3・4号機の再稼働以前に30km圏自治体と住民への納得できる説明を求める請願」

委員からは、「企業は、隣接する市町に説明をしており、更に、規制委員会がお墨付きを出していることで十分でないか」との不採択の意見や、「原子力特別委員会が審議すべきで、継続審議とする」等の意見があり、採決の結果、不採択となりました。

●陳情第2号

「地方財政の充実・強化を求める意見書」

委員からは、「国は三位一体改革で、地方に対する交付税源が乏しい。地方は今後ますます人口減少が進むことが予測され、地方税収が減少する。国に地方を見捨てない施策を要求する」ということで、全員賛成で採択しました。

総務文教常任委員会 視察研修

参議院、防衛省を視察

視察日 平成29年7月13・14日
視察場所 国会参議院及び防衛省



視察の様子(議員会館)

【防衛省】

我が国、防衛の中核である防衛省の施設見学をしました。

防衛省は、主に市ヶ谷記念館を視察しました。我が国の防衛機能については、今後とも勉強することが大切だと感じました。(浜野記)

産業厚生
常任委員会
付託案件3件
請願審査1件
陳情審査1件

9月14日、次の議案を審査し、全て承認されました。また、請願、陳情の意見が採択されました。

●美浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

●美浜町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

●美浜町営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について

●農業振興に関する請願書について

●「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について

産業厚生常任委員会 視察研修

視察日 平成29年8月17・18日
京丹後市網野町「一日漁師体験施設」
7月中旬から8月中旬限定で区画され

【参議院】

地方分権、地方創生の施策が美浜町のような過疎、人口減少の自治体を意識したものか確認しました。

【農水省 農村振興局他】

中間地域における農業政策について説明を受け、きめ細かな計画を持っており、地域で活用すべきと感じました。

【経産省 資源エネルギー庁】

エネルギー基本計画の実施体制について、2030年の原子力発電比率20%、22%の具体策が不透明と感じました。

た海岸において、素潜り体験が有料でできる新たな観光に約1500人訪れています。

京丹後市「伊根町の道の駅」

「丹後王国(食のみやこ)」と「舟屋の里公園」を視察しました。それぞれ50万人、25万人を超える入込客があり人気の道の駅です。どこに魅力があるかを体験し、美浜町にできる道の駅建設の参考にしました。

宮津市「京都自然塾」

自然を体感しながら46億年間の地球の歴史、環境問題を考える施設で、とても有意義な内容でした。
(竹仲記)



視察の様子(道の駅てんきてんき丹後)

現地視察 9月13日

新庄里山ゾーン、興道寺の大規模園芸ハウス「無限大」及び日向にある発酵熟成魚加工工場を視察しました。

新庄里山ゾーンでは、松谷地区に、自然体験施設としての古民家改修、獣肉加工施設の建設工事等の状況を視察しました。

大規模園芸ハウス「無限大」では、今年苗受けをしたトマト(越廼のルビー)の、出荷状況を視察しました。

発酵熟成魚加工工場では、1週間ほど熟成させたズッキーナやハマチなどの熟成度を視察しました。
(川畑記)



大規模園芸ハウス



自然体験施設に改修する古民家



発酵熟成魚加工工場

第5回臨時議会 8月10日

●平成29年度美浜町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ1億2866万4千円を追加し、予算総額84億6029万9千円とするものです。

美浜町エネルギービジョンに基づき実施する、三方五湖周遊船等新エネルギー可能性調査事業及び太陽光LED灯設置による交流拠点魅力向上事業が計上されました。

●土地の取得について

福井県園芸拠点施設整備事業用地の取得費用が計上されました。

場所 美浜町久々子33号
面積 2万1784・74㎡
取得価格 1億2422万9425円

●平成29年度町道久々子・金山線道路改良工事請負契約について

契約金額 6760万8000円
契約の相手方 株式会社 武田組

以上3議案が、可決されました。

(川畑記)

質 問

9月定例会では5人の議員が一般質問に立ち、町行政について、問いただきました。



辻 健一郎 議員

公共施設などの総合管理計画について

問 町の公共施設などの総合管理計画では、平成29年から同58年までの30年間、現在の施設を保有する前提で維持管理や更新などの費用を試算(総務省公共施設等更新費用試算による)した場合、約288億1千万円、これは年平均で9億6千万円になる。これらの財源について、その見通しと今後新規事業の計画について伺う。

町長 今後は、財政的な状況から、安易に国に頼らず町が自ら維持管理運営できるように考えている。また、新たな施設の計画では、園芸拠点施設、レストラン、道の駅、山東公民館を含む公民館の整備など国の補助事業を受けながら整備していく。

問 特に新規事業という箱物だが、箱物自体、振興計画とは言いがたいと思うがどうか。

町長 しっかり計画しているのは、レストランの施設である。他に公民館の充実などがある。

有害鳥獣対策について

問 この事業は、平成28年までに18集落に設置し、その事業量は58・7kmで、その費用は5億7500万1千800円である。その受益者負担金として、町の分担金条例に基づき100分の15を乗じて得た額を町に納入されている。しかし、本年度において2集落が施行する事業費の分担金については徴収しないとなっているが、その理由を問う。

町長 嶽山周辺の獣対策である。嶽山の山腹崩壊によって、海の汚染が漁業に与える影響が大きいものがあり、また、農地の保全とまた違う意味で地元負担は考えずに計画している。

問 山が滑り落ちて山が崩れる、このようなことは嶽山だけではない。農業も水産もまちの産業である。これは住民の不公平な行政。もう一つ言うと産業差別ではないか。農業者には手薄く、漁業者には手厚く、これは条例違反であるのではないか。

観光の町として今後の対策と推進方法について

問 一世紀に近い歴史をもつ三方五湖遊覧船の廃業に伴い、町の観光は前途不安となっている。今後の施策としての拠点は「どこ」そして「何」を示そうとしているのか。また、一時観光客200万人誘致を目指して、温泉の開発や、久々子湖での噴水などの計画もあったが、その成果は見られず、やはり町の

観光は三方五湖遊覧船なくしてはありえないと思うが、お伺いする。

町長 三方五湖遊覧船は、嶺南全体にとっても重要であると思う。現在考えているのは、新エネルギーを活用し新しい可能性を見出す流れを行っているところである。レークセンターが拠点となるような構想をもって調整を行い、その結果をもとに対応していきたい。

公共用地の管理

問 数多くの公共用地があるが、今回は大敷地係、そして、松原地係、雲谷地係の3ヶ所についてお聞きする。大敷地係について、現状と今後の計画について問う。

町長 大敷については、観光客減少に伴い、配湯を望む声もあったため、掘削し現在に至っている。

問 大敷の、14年経過するも全く手をつけていないが青池学園の賃貸料は、どのようになっているのか。次に、松原産業団地について今の状況と今後の計画についてお聞きする。

町長 現在、関西電子ビーム株式会社に分譲し、残る土地については、町内で発生した建設残土等の仮置き場として使用している。

問 次に、雲谷地係の土地と物件について、現状と見込みを問う。

町長 現状は、はこべ福祉会から育苗マットの製造販売を行う旨の借り入れがあり、かぐや姫工場として無償で貸している。



竹仲 良廣 議員

来年度からの国民健康保険税 県が財政運営責任主体となる 美浜町の保険税、当面現状維持の予想 どのようになる？

問 平成30年度から、国民健康保険制度が大きく変わろうとしている。その保険制度改革の内容はどのようなものか。

町長 国保の管理を県が運営主体となり県下統一した税率での徴収を考えているが、福井県は当面各自自治体で違った保険税で実施する。12月に明確な運営方針を決定する予定。

問 平成30年度の国保制度改革により、町の保険税の増加はあるのか。

町長 現段階では当面増加はないと考える。多少の増減が発生しても、現在約7700万円の基金積立があるので、その中で運用できる。

問 美浜町は国保税の算定を4方式で行っている。県単位化においては将来3方式にしようとしている。すなわち資産割の廃止を考えている。これによる美浜町民への影響はどのように考えるのか。

町長 資産割の額が約3200万円に増える。これを加入者全体に振り分けられることになるから今後の保険税額の増加が考えられる。激変緩和を配慮し

質問、返答については質問者の
文責で掲載しています。

て緩やかな変動にしていこう。

**平成28年度末「無電柱化推進法」が施行
町内の電柱を無くし道路環境改善を
電柱撤去には高額の費用負担が問題、
現段階では難しい**

平成28年12月16日に無電柱化の推進に関
する法律が施行された。さらに、毎年11
月10日を無電柱化の日とし、無電柱化の
推進が期待されている。

問 無電柱化について、街の景観改善、
危険回避(安全対策)の面から町長
の所感は。

町長 景観、快適な空間、防災上から電
柱をなくすことは重要だが、1km
あたり5億円かかる。この費用負担の協
議が国、県、町で必要。

問 美浜町はこれまで無電柱化を実施
した経緯はあるのか。また、町内
公道における電線類の地中化率はどの程
度か。

土木建築課長 平成7年に12本の無電柱化実施。
町内にNTTが207本、関西
電力が4966本の電柱があり電
線地中化率は0・2%である。

問 電柱が道路にはみ出ていることに
より死亡事故も発生している。法
律が施行されたことにより、美浜町にお
いても無電柱化の推進が必要と考えるが。

町長 国道の歩道整備において、地元の
理解が得られず一部用地買収がで
きなかった。無電柱化推進には賛成で
あるので、地元理解も重要な要素とな
る。賛同を得ながら今後、進める必要
がある。

問 今後、無電柱化推進とともに、こ
れ以上電柱を増やさないための条
例を作っているかどうか。

土木建築課長 町独自の条例制定は考えていない。
今後、国、県の指導を仰ぎながら
無電柱化の推進計画の策定を行う
必要がある。

**平成29年5月「自転車活用推進法」が
施行、町内のサイクリング推進をどうする
サイクリング施設・設備、整備計画的に推進**

問 この法律施行に伴い自治体は国と
適切に役割分担をし、実情に応じ
た施策を実施することとなる。このサイ
クリング推進に対しどのような考えを。

町長 サイクリング推進にはそれに伴う
道路整備が必要だが、実施におい
ては住民の協力が必須。国の計画内容が
はつきりした段階で計画的に進める。

問 具体的には専用レーンの整備、路
外駐輪場の整備、シェアサイクル
施設の整備などが考えられるが、町とし
て具体的にどのようなことを推進しよう
と考えているのか。

土木建築課長 地域の実情に応じた施策の内容が
違ってくるため、町としてはどの
ような施策が必要なのか、十分検
討して実施する。

問 国道27号線の歩道の整備が行われ
ているが、町内の公道は全体的に
狭く、人、自転車とも安全に進めない状
況下であり、残念な死亡事故も発生して
いる。これらの対策をどのように考えて
いるか。

土木建築課長 町道の歩道整備率は3・8%、県
道の歩道の整備は19%である。現
在国道27号の河原市郷市間、町道
久々子金山線、県道松屋河原市線の歩道
整備を実地中、30年度に役場前の町道郷
市線の歩道整備を進める。



浜野 健治 議員

**集中豪雨、
美浜町の備えは大丈夫か**

問 全国各地で発生する線状降雨帯
による集中豪雨に対して、美浜
町は備えをしているのか。

町長 町内の防災対策は重要課題の1
つとして捉えている。その内容
として、町内急傾斜地の防災対策、そし
て耳川水系、東地区の各河川の防災対策
が挙げられる。今回、大雨特別警報が市
町単位に出るようになったため、まずは
町民の安全を確保するため、避難所への
避難を進め、ハード対策は順次進める。

問 河川は堰堤の機能回復、河床の
浚渫が大切だが、考えているのか。

土木建築課長 浚渫は毎年数カ所実施している
が、更に、豪雨を想定して危険
箇所から計画的に実施してい
たい。山林の間伐材の処理も適正に管
理、指導をしていく。

夏のレジャー、安全対策条例を

問 夏のレジャーが盛んになる事は、
美浜町にとって良いことである

が、久々子湖岸、町内沿岸から無秩序に
下ろされる、レジャーボート、水上バ
イク(ジェットスキー)のマナーが悪く、
周辺環境を害するばかりでなく、湖、海
で遊ぶ客への危険性、障害物衝突による
自損事故などの可能性が高まっている。
美浜町独自の規制はできないのか。

町長 議員が言われる迷惑行為につい
ては深刻に考えている。夏期観
光に際して、内水面については警察に、
外洋は保安庁に協力を依頼している。
県にも条例化を要望しているが、実現
していない。

住民環境課長 危険性は十分認識しており、琵琶
湖の事例等を見ながら、マナーを
守らせるための看板の設置等を見
計して行きたい。

**「きいばす」に、目玉となる
ジオラマを作ったらどうか**

問 夏休みにきいばすは活用されたの
か、近隣小学校の活用計画を作成
して、示して欲しい。

エネルギー政策課長 夏休み中は約2000人の来
場者があった。企画テーマに約
2000人、団体見学が530人、
学会で400人、一般来場者が900
人であった。

教育課長 9月に敦賀市から4校、10月に敦
賀、若狭、大飯から4校、兵庫県
から1高校の体験依頼がある。

問 やはり展示の目玉が要ると思う。
原子力と再生エネルギーだけで自

質 問

9月定例会では5人の議員が一般質問に立ち、町行政について、問いただきました。

立する、30年後のエネルギータウンジョ
ラマを作ったかどうか。

エネルギー政策課長

提案事項として検討していきたい。

問

なびあすは5周年を迎えて、評
価も上がっている。年間どれ位
の資金投入が必要なのか。

生涯学習課長

一般にイベントの際にチケット
販売でもって収支バランスがと
れるのは1000席と言われて
いる。美浜町は500人以下の小ホ
ールであるため、チケット収入だけで
賄えない。従ってイベント事業の約半
分は文化事業として一般財源で補完
している。また、年間の施設管理費は約
4500万円位かかります。

問

産業団地の企業誘致に努力して
いるのかどうかお聞かせ下さい。
現在、5・6社に絞り、県の企
業誘致課と情報を共有化して進
めている。

創生戦略課長



梅津 隆久 議員

子ども・若者サポートセンター 設置について

問

発達・生活支援を行う支援セ
ンターあいばるが開設したが、「
ニート、ひきこもり、不登校」など子
どもや若者が抱える問題が複雑化、深刻
化する社会の中で、わが町には具体的
・専門的支援を行う支援体制が確立してい
ないと考える。支援を要する40歳までの
若者等の情報収集はできているのか。

福祉課長

本町における不登校の状況につ
いては、近年の傾向として、小
中学校合わせて5名程度で推移してい
る。また、18歳までの生徒については、
教育政策課と子育て支援センターが連携
し把握しているが、19歳以上については
把握されていない。

問

美浜町としてニート、引きこも
り、不登校者をはじめ家族に関す
る相談支援、就学支援、就労支援をどの
ような体制で推進し対応しているのか。
19歳以上の情報はなかなか行政で
は入手出来ないことから、社協、
民生委員、福祉委員が一番の情報源にな
ると思うので、協力願いを把握して参りた
い。また、対応については、町の福祉課、

福祉課長

健康づくり課、教育政策課、子育て支援
センター等から組織する美浜町発達支援
連絡協議会にはかり、その親子の状況に
応じた最適なサービスを提供している。

問

若狭町では、ゼロ歳から概ね40歳
までのニートや引きこもり、発達
障害、不登校等の困難を有する子ども、
若者とその家族の支援を行なうことを目
的に、心身の状況や気持ちをも十分に把握
し、家族や関係者と話し合い、その人に
合った支援を柔軟に運営する「若狭町子
ども・若者サポートセンター」を平成24
年に開所している。美浜町でも同様な施
設を開所し充実を図る考えはないのか。

町長

不登校問題等や19歳以上の引きこ
もり問題は、各担当課にて非常に
重要視して積極的に対応しているが、行
政だけでは難しい問題かと思う。今、提
案のあった福祉団体、民間団体の組織作
りが重要と考える。来年から福祉計画
を策定する検討チームの中で検討してい
きたいと考える。

沿岸漁業資源バフンウニの確保 について

問

第五次美浜町総合振興計画では、
水産振興として藻場再生事業や稚
魚放流などによる水産資源の確保が謳わ
れているが、「バフンウニ」稚魚放流等
による漁獲量の拡大策はないのか。

町長

漁業振興は非常に重要であること
から、漁港・漁礁支援以外にも、
放流事業等も積極的に進めている。

農林水産課長

近年の漁獲量は、平成25年度で
135kg、28年度では95kgで推移
している。それぞれの漁場の中で
自主規制をしながら漁獲している。

問

昭和57年に、菅浜白瀬海岸に保
護礁の整備を図ったと聞いている
が、資源回復が見られないのが現状で
ある。地球温暖化現象による海水温度上
昇等、自然環境の変化による藻場の消滅
等が推定されるが、行政として採れなく
なった要因をどう分析しているのか。

農林水産課長

保護礁の整備は、小規模増殖事業
として実施して来たが、詳細検証
までは実施していない。土砂の
堆積や波当たりの関係で現在十分な機能
を果たしていないことや、海水温度の上
昇、藻場の消滅、潮流の関係が特に重要
要因と考えている。また、30年までの県
モデル事業である、大型の水産環境整備
事業が完成した後、漁協と相談しながら
拡大展開を考えて行きたい。

問

環境変化によることは理解出来
るが、県は三国海岸で27年度か
ら31年度までの間で毎年20万個の種苗
を生産し放流していると聞いている。
嶺南海岸、出来れば菅浜付近の海岸に
半数でも放流して貰えないか、県へ要
請してほしい。

農林水産課長

県と相談させて頂いたが、20万個
総数の中で調査結果を出して行き
たいとの事である。しかし、美浜
町においても、調査を含めた放流希望で
あれば県としても考えて行きたいとのこ
とから要望させて頂いた。可能となれば、
漁協とも相談し支援を考えて行きたい。

質問、返答については質問者の
文責で掲載しています。



河本 猛 議員

三方五湖サイクリングコース について

問 初期計画の段階で若狭町を中心としたサイクリングコースのように見える。美浜町として、人が集まる拠点となる場所をどこに定めているのか。

商観光課長 美浜駅や総合運動公園、北地区公民館などが拠点となり得ると考えている。

問 計画図を見ても美浜駅を活用することはうかがえない。美浜駅周辺、南西郷地区や北西郷地区の景観を活用するべきだ。美浜駅から水神公園、総合運動公園を周回できるジョギングコースとして活用するために、県や国に対して、県道214号線、215号線、梅街道、丹後街道を再整備するように求めていくべきだ。

商観光課長 案内看板や距離表示看板、サイクリング車を誘導するためのブルーライン等の整備、道路の幅員については、県や国とも調整を図っていきたい。

意見 県道214号線は、美浜駅周辺とサイクリングコースをつなぐ

重要な道路である。歩道側の柵が腐って崩壊しており、景観がよくない。県に対してしっかりと要望するよう強く求めておく。

福井県園芸拠点施設整備事業 について

問 町は、農山漁村振興交付金6573万5000円と町負担7163万9000円を使ってレストランと直売所を整備しようとしているが、農山漁村の振興に役立つのか。

町長 我々は役に立つと思っている。

企画政策課長 子供から大人まで楽しく過ごせる園芸の拠点として広域集客軸を形成し、農泊体験、農業体験、町内の周辺施設や観光資源と連携を図ること、農山漁村の振興に寄与するものだと考えている。

意見 農村漁村振興交付金を使用するのであれば、直接住民が主体となるような農山漁村の取り組みを支援するべきだ。

問 町の負担もあわせて約1億3700万円のレストランと直売所が、福井県の園芸研究センターに早急に必要なと思えない。農山漁村の住民の取り組みに使える交付金なのに、美浜町が福井県を支援しているように見える。県がレストランや直売所を整備する予算を出すべきだ。

町は、駅前に道の駅を整備しようとして

いるが、道の駅では飲食店や農産物の直売はやらないのか。

企画政策課長 農産物の販売など、特色を出して整備することも考えている。

意見 行政主導で飲食店や直売所を町内に分散設置しても、民間の飲食業者も含めて営業を困難にするだけだ。

飲食店や農産物の直売というのは、駅前道の駅に集約するほうが町内外の消費者にとっても利用もしやすく、消費効果も大きい。その方が、農産物の生産者や飲食店の経営者にとっても利点がある。園芸研究センターで研究する薬草や農産物は、美浜町の耕作放棄地などを活用しながら生産拡大を図る計画をつくり、その取り組みを支援していくことが必要だ。

町が整備するレストラン、直売所が町民のために今すぐ必要な公益性の高い施設になるとは思えない。公益性もなく将来性も見通せない施設は、町民に不利益をもたらすだけなので即刻中止するべきだ。

美浜・三方環境衛生組合議会 8月10日

◎旧し尿処理場土地の処分について
8月10日に臨時会が開催されま
した。

若狭町の町議会議員改選に伴い、
副議長に原田進男(ハラダユキオ)氏
を選出しました。

福井県園芸センター用地として、
し尿処理場跡地1万2505平方
メートルを約9千4百万円で福井県
に売却する議案が可決されました。

旧し尿処理場は、建物の解体工事
はほぼ終わり、地下部水槽を解体し
ています。(野瀬記)

小浜病院組合議会

8月16日

8月16日から70日間の会期で開催
され、組合各事業の収支状況と平成
28年度の事業会計認定及び、財政健
全化比率の報告がありました。

新医院長就任後、新公立病院改革
プランに基づいた改善傾向が見られ
ますが、国の高齢化対策に対応し
た、努力と成果を望みます。

(辻井記)



敦賀・美方 消防組合議会

●第2回臨時会(7月24日) 補正予算などを可決

敦賀市看護大学の学生による消防団機能別班の設置にあたり、2338万5千円の予算を追加。また、消防・救急車の入札案件を審議し、承認しました。

●第22回自衛消防隊操法大会 (9月20日)

「町議会チーム」も職域の部に参加し、防災の意識の向上と消防組織の発展に取り組んでいます。

地区の部は「太田男子チーム」、職

域の部は「関電原子力事業本部自衛消防隊」、女子消火栓操法の部は「美浜町保育園フレッシュ連合チーム」が優勝しました。
(河本記)



第22回美浜地区自衛消防操法大会

全員協議会

〔7月19日開催〕

9月議会を前に、諸事業の説明がありました。

●福井県園芸研究センター拡充にかかる用地について

県は、原子力レスキュー用地で減少した代替地として、し尿処理場の用地を取得します。

また、美浜・三方環境衛生組合は、処理場を移転し、閑雑用地と共に、美浜町が一旦買い取り、県へ転売します。

●エネルギー構造高度化・転換理解促進事業

補助金を活用して、ソーラーを搭載した遊覧船運航の検討を行います。また、町道久々子線の一部と総合体育館公園に58基のLED灯を設置します。

●レークセンター

国体までの遊覧船運航の再開は困難。全面リニューアルし、運航を実施するため、31年度末を目標に、プロジェクトを組織し検討に入る。

●「美しのニュータウン」内の集合住宅について

若者及び子育て世帯の定住を図るため、賃貸住宅を営営しようとする事業者を公募型プロポーザルで募集します。



美浜・五木ひろしまラソン



レークセンター

●美浜五木マラソンについて

平成30年の第30回大会は、記念大会として、メモリアルコンサートを開催するほか、記念碑を建立します。第31回大会以降は「美浜・五木ひろしふるさとマラソン」と称して継続します。
(浜野記)

〔8月23日開催〕

道の駅候補地決定!

●国民健康保険事業の制度改正について
これまで市町単位で運営してきた同事業ですが、県単位に変わるという内容です。

●美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業について

先に決定された本事業の大きな柱として『道の駅』がありますが、諸条件を精査した結果、候補地を美浜駅前交差点から西、国道27号より北側の位置《駅前周辺》に絞り込んだ旨の報告・説明がありました。

●園芸拠点施設整備事業について

7月19日の全員協議会に引き続き、説明がありました。町は、県の環境衛生センター跡地等周辺の土地を購入し整備していく敷地の一面を借り受け、地場産品の直売所やレストランを建設し、地場産品の育成・まちの活性化を図りたいと事業計画を示し、9月定例会で予算化したい旨話がありました。

【9月15日開催】

●美浜発電所3号機の60年までの運転に向けた安全性向上対策工事の計画について

3号機再稼働に向けた工事として、基準地震動に伴う使用済燃料ピットラック取替工事(床に固定せず揺れを滑り等により軽減するフリースタンディングラックに取り替える)や、使用済燃料ピットラック補強工事(岩盤に鉄筋コンクリート造の床および杭を打設し、使用済燃料ピット壁と岩盤とを連結する)、炉内構造物取替工事などの説明を受けました。また、その他の大型工事については、現地に行き防潮堤設置工事、外部遮蔽壁の補強工事、アクセス路確保のためのトンネル工事等の計画場所を視察しました。

●美浜発電所1・2号機の廃止措置に係る系統除染工事について

1・2号機廃炉計画では、当面3年間の廃止措置工事の工程についてや、機器の内面に付着した放射性物質は薬品を使って除去するなどの説明を受けました。

●高速増殖炉原型炉「もんじゅ」の廃止措置について

まず廃止措置に対する基本的な計画の概要、もんじゅの現状、プラント状態、燃料の現在の保管状況として原子炉容器に炉心燃料、ブランケット燃料合わせて370体、炉外燃料貯蔵槽



高速増殖炉原型炉「もんじゅ」視察



に200体、燃料池に2体が保管されているという説明を受けた後、現地で、燃料出入設備や、使用済燃料等に付着したナトリウムを洗浄する燃料洗浄設備を視察しました。
議員からは、安全第一に工事を進めて下さいという意見が相次いであります。(崎元記)

議員間意見交換会

9月1日

9月定例会に提出された一般会計補正予算案にある園芸拠点施設整備事業について、これまでの町の説明では不十分で、先の全員協議会でも採算性や運営の具体的な方針については示されたとはいえず、議員間にも認識の違いがあり、今回予算化する事自体に難色を示す議員が多くいました。そこで再度詳細なデータの提示や説明をしよう求めました。そこで、今回、議会として担当者呼び協議する場を設けました。しかし、これまでの繰り返し、返しの域を出ない内容でした。それらを踏まえて、議員間で率直な意見交換を行いました。

その結果、予算決算常任委員会審議するには、本日の内容では充分納得出来る中身ではないとの意見も多く出ました。町に対し、具体的な経営計画の提出と答弁を、県にも進捗状況及び方針等の詳細説明を受けた上でとの結論に至り、行政にその旨申し入れをしました。(兵庫記)



園芸拠点施設整備事業

●緑のふるさと協力隊受入事業について
様々な課題に直面している農山村において、地域活性化につながる活動をしてくれるボランティアの青年を受け入れる事業ですが、来年度本町でも受け入れをしたいとの発表がありました。(兵庫記)

平成29年度議会と語ろう会PART1として、議員3班編成にて東地区1、東地区2、耳地区1に区分し、7月31日に行いました。「美浜町の観光について」をテーマとして、次の資料等をもとに話し合われました。

美浜町観光客入込客数（参考資料）

単位：千人

	H24	H25	H26	H27	H28
総数	828	860	896	894	864
県外	683	715	748	704	720
県内	145	145	148	190	144

本町の観光入込客数(年間総数)は、70～90万人の範囲で推移。
 ※美浜町観光振興計画における観光入込客数について、平成30年に100万人、平成35年に135万人を目標値として設定。

【議会と語ろう会 1班】

平成29年度議会と29語ろう会の報告(1班)について

1班は東地区1を担当し、竹波防災センターで開催しました。内容は、共通テーマである「美浜町の観光について」のもと美浜町の観光振興計画についてや、三方五湖ゾーン・敦賀半島西海岸ゾーン・新庄山里ゾーン・ヒストリーゾーン(若狭国吉城歴史資料館、美浜町歴史文化館、興道寺廃寺)について概要を



議会と語ろう会 (1班)

説明しました。また、議会だよりNo.30を活用し、平成29年度一般会計6月補正予算概要を説明した後、意見交換、地区のご要望等をお聞きしました。夏場の海水浴最盛期ということもあり、公衆トイレの修繕や海水浴場の浜寄せ対策等の要望、美浜町の観光振興の悪さ、今後の検討課題等を沢山頂き有意義な語ろう会となりました。(梅津記)

【議会と語ろう会 2班】

3つの観光ゾーンの予算は？

2班は、佐田・山上・太田・坂尻地区を対象に議会と語ろう会を開催しました。

参加者から三方五湖、敦賀半島西海岸、新庄山里の3つの観光ゾーンについて、予算はどのように使われていますか？という質問がありました。

三方五湖ゾーンは、主に観光拠点整備計画業務費とサイクリングコースの実施計画事業費で1251万8千円。新庄山里ゾーンは、主に登山道の整備や獣肉加工施設の整備、古民家カフェの整備などが進み1億6368万3千円。敦賀半島西海岸ゾーンは、主にイベント費で100万円が使われています。



議会と語ろう会 (2班)

敦賀半島西海岸ゾーンでは、住民や議会からの提案などで、観光資源の発掘や整備計画の充実に図れる可能性があると述べました。

また、年間の観光費、インバウンドの受け入れ体制などについての質問がありました。

商工費の中から観光費を抜き出すと、平成29年度の当初予算では、観光費として7430万6千円が計上されていることを伝えました。

インバウンドでは、海外の観光客を呼び込むために十分な受け入れ態勢をつくれるように議会でも議論していきたいと考えています。案として、タブレット(電子機器)の通訳機

能を使って会話を可能にするシステムをつくるという考えも述べながら、深い話し合いができたと思います。

(河本記)

【議会と語ろう会 3班】

今ある物を磨いて見よう

6月議会の補正予算から、今後のゴミ処理を敦賀市と一緒にを行う為の調査負担金と現在のエコクル施設はどうなるのか。また、「きいばす」前に設置される追尾式の太陽光発電施設の建設費や費用対効果の質問がありました。

つづいて、「美浜町の観光について」で意見交換を行いました。「美浜町の観光客の入込みを見ると10年間ほとんど変わっていない。」「民宿も大幅に減って宿泊する場所がない。」「プロのコンサルタントのアドバイザーも必要だが、『ない物を求めるより今ある物を磨く』の方が費用も掛からず、町民みんなで手作りのおもてなしが出来る。」との意見がありました。

新庄地区は、県のふるさと創生プロジェクト事業に載り3年目の最終年を迎え、ハード面の計画も含めソフト面の取り組みも見えて来ましたが実際にそれをどう活用して、どう人呼び込んで行くか心配する意見

もありました。また滋賀県への抜け道についての期成同盟会の発足と取り組みの報告もあり、議会としても県や国への要請を行っている旨を伝えました。

これからの美浜の観光は、三方五湖の遊覧船の復活と「道の駅」の期待に掛かっているとの意見や、興道寺廃寺の現状と夏のジェットスキーの久々子湖乗り入れやマナーの悪さに対する要望もあり、自然・環境保全への貴重な意見も頂きました。

(辻井記)



議会と語ろう会 (3班)

知っ得議会

シリーズ⑥

【議員報酬について】

昨今、議員のなり手不足による無投票当選や定数割れが深刻な問題となつていきます。議員のなり手不足を解消し、多様な人材・多様な意見の反映を維持していくため、議員報酬を含む議員の環境整備について見直しが検討されています。

議員報酬と政務活動費

議員には、職務の対価として「議員報酬」が支給されます。その額や支給方法は、自治体ごとに条例で定められています。

また、議員報酬とは別に、「議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部」として「政務活動費」を交付する自治体もありますが、美浜町では交付していません。

地方議会議員年金制度

地方議会議員年金制度は、平成23年6月1日に廃止されました。

(事務局記)

■ 議員報酬の額

	美浜町議会	全国平均(町議会)※1	全国平均(市議会)※2
議長	月額 300,000 円	月額 290,234 円	月額 51.7 万円
副議長	月額 245,000 円	月額 234,986 円	月額 45.6 万円
議員	月額 235,000 円	月額 213,141 円	月額 42.1 万円

(参考) 美浜町の三役の給与

町長	月額 850,000 円
副町長	月額 670,000 円
教育長	月額 560,000 円

【出典】

(※1) 全国町村議会議長会『町村議会実態調査の概要』(平成28年7月1日現在)

(※2) 全国市議会議長会『市議会議員報酬に関する調査結果』(平成28年12月31日現在)

12月議会は、12月6日から20日までの15日間の予定です。

美浜中学校体育祭

9月10日に、美浜中学校体育祭が開催されました。
生徒たちがこの日に向けて一生懸命準備・練習してきたことが、競技や発表に臨む、はつらつとした姿から感じられる、素晴らしい体育祭でした。
(藤本記)



レガッタ記録

第30回つばたレガッタ(8月20日)

今年も交流を兼ねて、第30回つばたレガッタに参加しました。今年は、3位に入賞することができました。



第30回つばたレガッタ



第26回全国市町村交流レガッタ由利本荘大会

第26回全国市町村交流レガッタ

由利本荘大会(9月23日・24日)

全国市町村交流レガッタが、秋田県由利本荘市で開催されました。子吉川が漕艇場になっているので、流れによる影響が勝敗を左右する難しいコースでした。悔しいですが、三方五湖チームは準決勝で敗退し、水晶浜チームは予選で負けてしまいました。

【表紙の説明】

文化財シリーズ④

○町指定文化財「雨宝童子立像」

宮代 園林寺蔵
室町時代 像高75・5cm
あまてらすおのみかみ
天照大神の幼少の姿とも、大日如来の現世の姿ともいわれている。

○町指定文化財「秀吉朱印状」

金山 龍澤寺蔵
戦国時代、天正2年に龍澤寺再興のとき、豊臣秀吉から差し出されたもの。

編集後記

現在、少子化による人口問題、原子力発電問題、また、人工知能による産業革命等々。果たしてわが町美浜町の未来には、どんな問題が待ち受けているのでしょうか…。少しでも皆さんと問題を共有して考えて行きたいと、今年も議会と語るう会を開催しています。多くの皆さまからご意見をお聞かせいただき、行政に反映させたいと思っております。議会広報もよろしく申し上げます。(山口記)

美浜町議会広報特別委員会

【委員長】 野瀬 雅己
【副委員長】 河本 猛
【委員】 浜野 健治 山口 和治
兵庫 賢一 竹仲 良廣
辻 健一郎